



平田寺の竹中智厚住職から歴史を聞く参加者

歴史を知り牧之原市を堪能

■ぶらり田沼の旅

昨年生誕300年を迎えた郷土の偉人、田沼意次侯ゆかりの地を巡る「ぶらり田沼の旅」が9月6日と27日に開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、コースなどが短縮されたものの、市内外の子もから大人までが参加し、田沼意次侯に扮した市学芸員の解説を聞きながら、般若寺・平田寺・大鐘家などのゆかりの地を巡りました。また史料館では、文化財や寺院所蔵の什物が特別公開され、参加者は歴史を知るとともに牧之原市を堪能しました。

ぼくたちが家族のエコリーダー

■アースキッズセレモニー

9月16日、坂部小学校でアースキッズセレモニーが行われ、4年生25人が参加しました。

会では、6月から学校と家庭で行ってきた地球温暖化防止に取り組むプログラムの結果発表やエコリーダー認定証の授与が行われました。

静岡県地球温暖化防止活動推進センターの山本修司さんは、「子どもたちを通じて保護者や家族も一緒に参加してくれました。温暖化を身近に感じてもらう、これからも取り組みを行ってほしい」と話しました。



エコリーダー認定証を受け取る児童

子育て世代を心を込めてサポート

■「まきのはらパピー」が社会貢献者表彰を受賞

子育て支援団体「子育て応援し隊 まきのはらパピー」（紅林美江代表）が「第54回社会貢献者表彰」を受賞し、9月26日に杉本市長に報告しました。この表彰は、公益財団法人社会貢献支援財団が社会に貢献する個人や団体を表彰するもので、同団体が平成17年から託児を通じて多くの親たちを支え続けていることが評価されました。

代表の紅林さんは「子どもが大好きだから続けられる。今後も、緊急時などどんな時でも対応できるようにメンバーと頑張りたい」と話しました。



写真左から松浦寿代さん、紅林さん、先生敬予さん、杉本市長



映像を見ながら南極について学ぶ児童

南極の過酷な環境を学ぶ

■南極クラス

元南極観測隊員による出張授業「南極クラス」が9月16日に川崎小学校で開かれました。

現地で建築関係を担当していた小山悟さんを講師に迎え、児童はさまざまな実験の様子や昭和基地での生活、ブリザードのすさまじさ、ペンギンの生態、オーロラのことなどを学んだほか、実際に着用した越冬服に触れたり、約2万年前の氷を鑑賞するなど、貴重な体験をしました。

参加した児童は「普段できないことが体験できてよかった」と話しました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

ズームイン！
カシャ！！



杉本市長から牧之原市の現状と課題を聞く参加生徒

課題解決に向け市の現状を知る

■地域リーダー育成プロジェクト

地域の課題解決に貢献する市民を育成する「地域リーダー育成プロジェクト」が9月26日にミルキーウェイクエアで開かれ、榛原高校と相良高校の生徒約40人が参加しました。

このプロジェクトは全6回開催予定で、第1回目の開催となったこの日、参加生徒は杉本市長から、牧之原市の現状や課題、課題などの講話を聞いた後、グループごとに「自分が市長だったらやりたいこと」をテーマに意見を交わしました。

今後、生徒らは地域活性化に取り組む地域の人に話を聞くなどして、よりよい地域を実現するための方法を考えていき、来年3月に発表会を開催する予定です。

いざという時の対応を学ぶ

■女性消防隊による救急法講座

子育て支援センター相良で9月16日、乳幼児の心肺蘇生法などを学ぶ講座が開催され、小さい子どもを持つ保護者が参加しました。

講師は市消防団女性消防隊員が務め、参加者は人形を用いて心肺蘇生法やAEDの操作方法、誤飲時の対処方法などを学びました。

1歳の子どもを連れて参加した横山美香さん（東萩間区）は「誤飲の対応方法など、本などで読んだことはあったが、今回実際に人形を使ってやってみるととても参考になった」と話しました。



人形を使って誤飲時の対応を学ぶ参加者



拾った栗の大きさを見比べる園児

大きな栗がいっぱいとれたよ

■栗拾い体験

市内で唯一栗拾いを楽しむことができる相良油田観光くり園（菅山区）が、9月12日から10月上旬まで開園しました。

開園に先立ち、9月10日に地元の菅山保育園の園児が招待され、栗拾いを体験しました。園児らは、広大な園内のあちこちに落ちている栗を夢中で拾い、袋に入れていきました。最後には、自分が拾った中で一番大きな栗をみんなで見せ合い、誰の栗が一番大きいかを競い合うなど、実りの秋を満喫しました。